

ガンベリ、新緑とバラ満開

開拓の最終段階へ

今ガンベリは、酷暑の到来を前に短い春を謳歌している。
記念講演ではバラが咲き乱れ、新緑が目にも痛い。

ガンベリ開拓は、先の主幹排水路の完成に続き、給水・排水路網整備の最後の詰めに入っている。早ければ4月中旬に測量を完了して着工する。現在ガンベリ下流の住民とルートを調整中。これによって、長い長い懸案が解決され、ガンベリ全域約 800 ヘクタールの完全灌漑を目指し、住民同士の抗争に終止符を打つ。PMS は一年をかけ、後顧の憂いを完全に一掃する。嵐前の静けさだ。



記念塔から望むマルワリード用水路。春雨が沙漠の軽塵を潤し、新緑が鮮やかだ。芽吹いた柳が緑のトンネルを作って用水路を覆っている。2017 年 4 月 16 日



公園は訪問者が絶えない。農業研修に来る学生たちや、カブールから家族連れで訪れる者もいる。2017 年 4 月 16 日



アフガン人は無類の花好きで、わけてもバラは花の王者だ。花（パシュトー語でグル）といえば普通バラ（グループ）を指すほど一般的だ。バラの生育環境は日本の愛好家がうらやむもので、薬品も肥料も要らない。無造作に挿し木だけで活着して花を咲かす。接ぎ木などで品種を混ぜて楽しむのも普通に行われる。たいていが四季咲きで、黒点病などはほとんど見られない。無名の素晴らしい品種がある。



ザクロの花。芽吹く若芽のグラデーション。2018年4月16日



日本の野ばらに似た種類だが大輪。一期咲きで、アーチに這わせている。2018年4月16日



熟成が近い小麦。収穫は3週間後には始まる。熟成前の灌水が終われば一息つく。2018年4月16日



PMS 農場の今年のコムギ作付け面積は 45 ヘクタール（町歩）で、記録を更新している。農業担当のアジュマルくんによると、このところ収穫はヘクタール当り 3 トン前後で、職員の家族すべてをまかなって余りが出る。補助金がないと採算が取れない日本のコムギ事情の貧しさを考えると、夢のような話。2018 年 4 月 16 日



ミラーン研修所の授業風景。この日は水門番と地域の指導者を集め、PMS の仕事の紹介、取水堰の重要性などが強調された。一本の用水路は百の診療所に優るといふ標語は分かりやすい。スピンガル山脈方面が荒れた現在、この地域全体の関心は急速に高まっている。2018 年 4 月 16 日

